Creative Enzymes®

牛腸由来エンタロキナーゼ、組換え

Cat. No. NATE-0226

Lot. No. (See product label)

はじめに

□明	エンタロペプチダーゼ（エンタロキナーゼとも呼ばれる）は、十二指腸の細胞によって生成され、人間や動物の消化に関与する酵素です。これは、摂取した食物が胃から移動する際に腸腺（リーベルキューンのクリプト）から分泌されます。エンタロペプチダーゼはトリプシノーゲン（酵素前□体）をその活性型であるトリプシンに□換し、膵臓の消化酵素のその後の活性化を引き起こします。エンタロペプチダーゼの欠如は腸内の消化障害を引き起こします。
用途	エンタロキナーゼはS1ペプチダーゼファミリーの一員です。生体内では、トリプシノーゲンからトリプシンのプロテオリティック活性化を担当しています。エンタロキナーゼは、アフィニティータグを除去するためのアクセス可能なエンタロキナーゼ認識部位を含む再組換え融合タンパク質の部位特異的切断に使用されます。牛の腸からのエンタロキナーゼは、カスケード消化プロテアーゼの潜在的な活性化因子としてデュオデナースを評価する研究に使用されました。牛の腸からのエンタロキナーゼは、牛の十二指腸からのエンタロペプチダーゼおよびトリプシンの阻害剤を調□する研究にも使用されました。Creative Enzymesの酵素は、Escherichia coliで過剰発現された精製された再組換え牛エンタロキナーゼ（□鎖）との特異的活性を比較するために使用されました。
別名	エンタロキナーゼ; エンタロペプチダーゼ; EC 3.4.21.9; 9014-74-8

製品情報

種	牛の腸
由来	E. coli
形態	タイプIは、20 mM Tris-HCl、200 mM NaCl、および50%グリセロールの溶液として供給されます。タイプIIは、白い粉末です。
EC番号	EC 3.4.21.9
CAS登□番号	9014-74-8
分子量	28 kDa light chain form
活性	タイプI、> 20ユニット/mgタンパク質
濃度	> 0.1 mg/mL
機能	スカベンジャー受容体活性; セリン型エンドペプチダーゼ活性
単位定義	1ユニットは、25°CでpH 5.6の条件下でトリプシノーゲンから1.0ナノモルのトリプシンを□分生成します。

使用法とパッケージング

包装	約0.2単位のバイアル

保管・発送情報

保存方法	−20°C